

豊かな心と確かな絆づくりプロジェクト

【目指す子どもの姿】

- ・みんなと仲良く活動できる子
- ・自分の役割を果たす子

【縦割りグループでの活動】

子どもたちの社会性を育むため、1年生から6年生まで縦割りグループを作り、清掃や遊び、給食、行事で異学年と共に活動している。

縦割り班・青空グループでは、4年生以上が主催を担当し、グループみんなが仲良しになれる遊びを考えて実行してきた。1年生から6年生まで、自分の役割が明確になるよう計画して、目的意識をもって参加している。

今年度からは新たな試みが3つ行われた。「ペア学年」「前庭の開放」「雪遊び」である。

「ペア学年」は、1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアとなった。整列をするときや移動するときなど、協力して活動してきたことで、より社会性の向上が見られた。

遊びの中身も豊かになってきた。前庭を開放し、ホッピングができるようにした。鮮やかに咲く花に囲まれた環境の中で、子どもたちの笑顔があふれた。高学年が低学年に跳び方を教えるなどの姿が見られた。

1月の青空タイムは、多くのグループが雪遊びを計画した。幸いにも天候に恵まれ、雪合戦や雪像作りなどが行われた。

【あいさつ運動】

委員会によるあいさつ運動と、学年によるあいさつ運動を行ってきた。

委員会によるあいさつ運動は、全校に呼びかけイベント的に行った。全校児童一斉に気持ちを一つにして取り組むよさが見られた。

学年によるあいさつ運動は、月ごとにペア学年で当番を決め、玄関や校舎内に立って行った。自分たちが当番でがんばらなければならないため、大きな声を出したり、小道具を作ったりするなど、主体性と工夫が見られた。

【成果と課題】

○学校生活満足度やあいさつ等で、肯定的評価が高い。

△数値的評価や自己評価が高いが、実際の姿がまだまだ改善の余地がある。もっとよりよいあいさつ、役目に対する積極性、より広く深いつながりを求めていく必要がある。



【青空給食】縦割り班で仲良く給食を食べる



【前庭遊び】ホッピングで楽しく縦割り遊び



【雪遊び】みんなで協力した雪像作り



【あいさつ運動】主体性と工夫が見られたペア学年